

# 地域包括ケア「見える化」システムを活用した 海南省介護保険事業の現状分析

## 地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

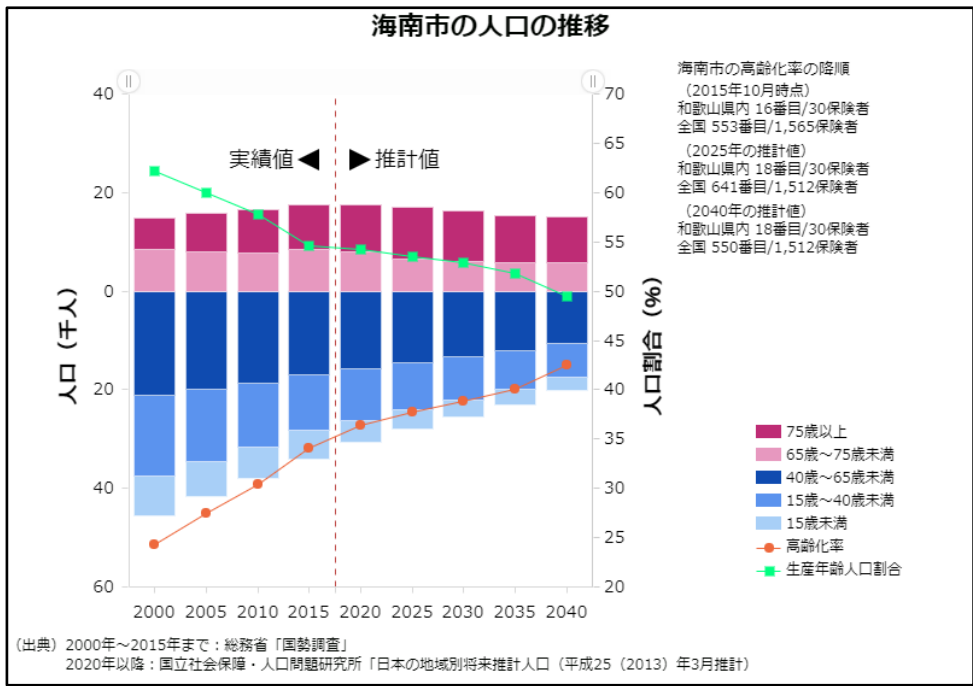
地域包括ケア「見える化」システムの主な目的は、以下のとおりです。

- 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする
- 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする
- 都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる

## 目次

1. 人口の推移	1 ページ
2. 高齢化率	1 ページ
3. 高齢者を含む世帯の割合	2 ページ
4. 高齢独居世帯の割合	2 ページ
5. 高齢夫婦世帯の割合	3 ページ
6. 調整済み認定率（他市比較）	3 ページ
7. 調整済み認定率（経年比較）	4 ページ
8. 要介護・要支援認定率（重度・軽度分布）	4 ページ
9. 受給率（サービス系列別、要介護度別）	5 ページ
10. 調整済み第1号被保険者あたり給付月額（サービス系列別）	6 ページ
11. 週1回以上の通いの場の参加率	6 ページ
12. 海南省の特徴	7 ページ
13. 海南省の現状分析と要因	7 ページ

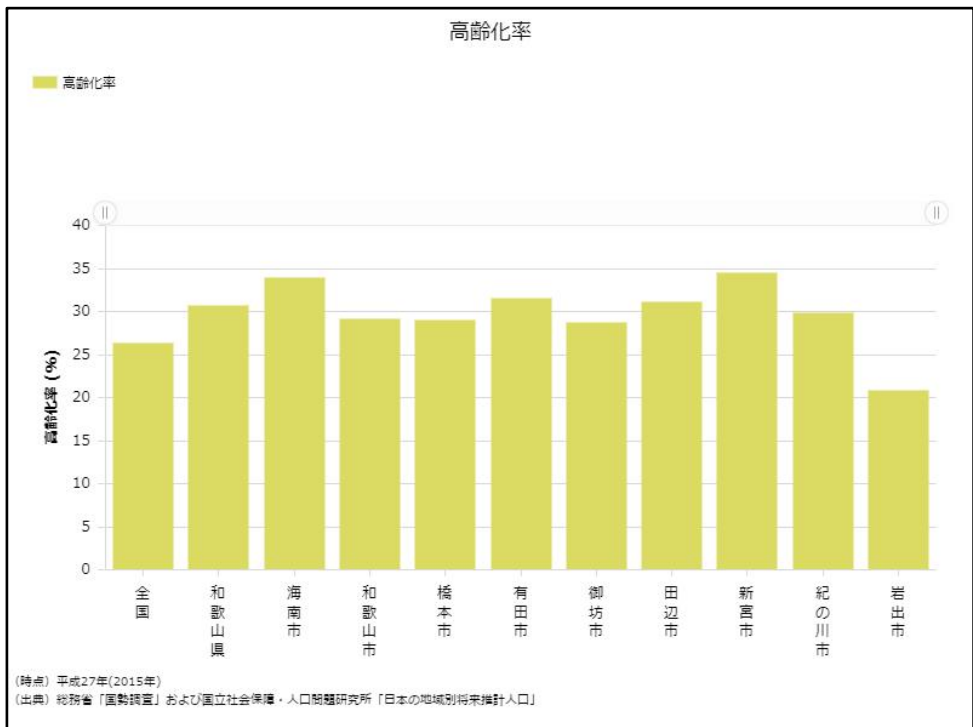
## 1. 人口の推移



国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口」によると、2025年の海南市の人口は44,967人、2040年には35,232人と推計されています。

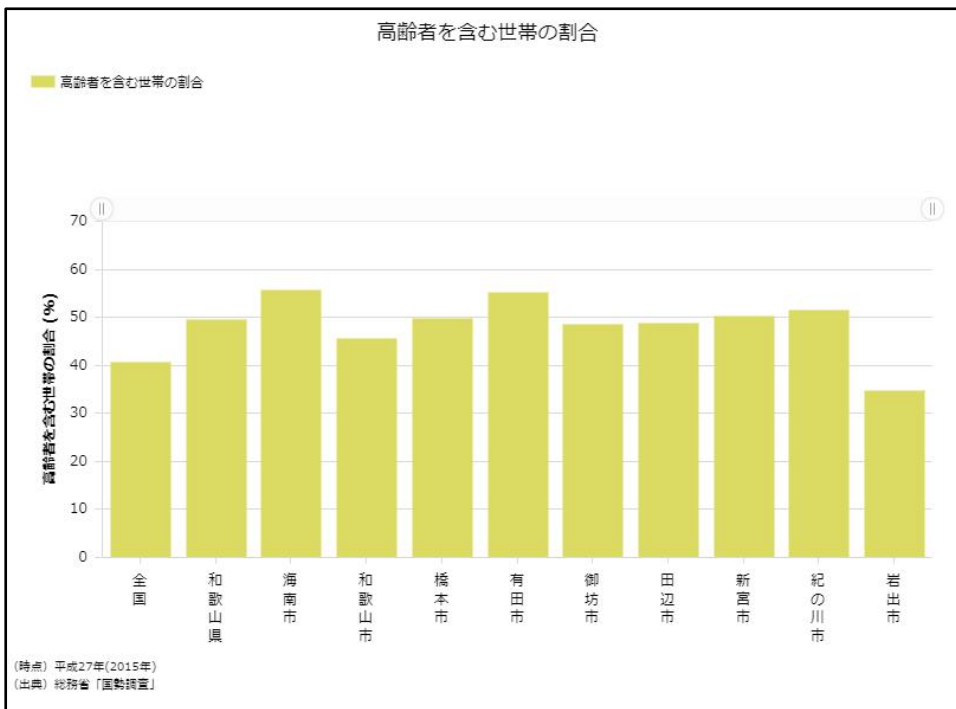
高齢化率は今後も上昇を続ける見込みですが、第1号被保険者数は減少傾向となる見込みです。

## 2. 高齢化率



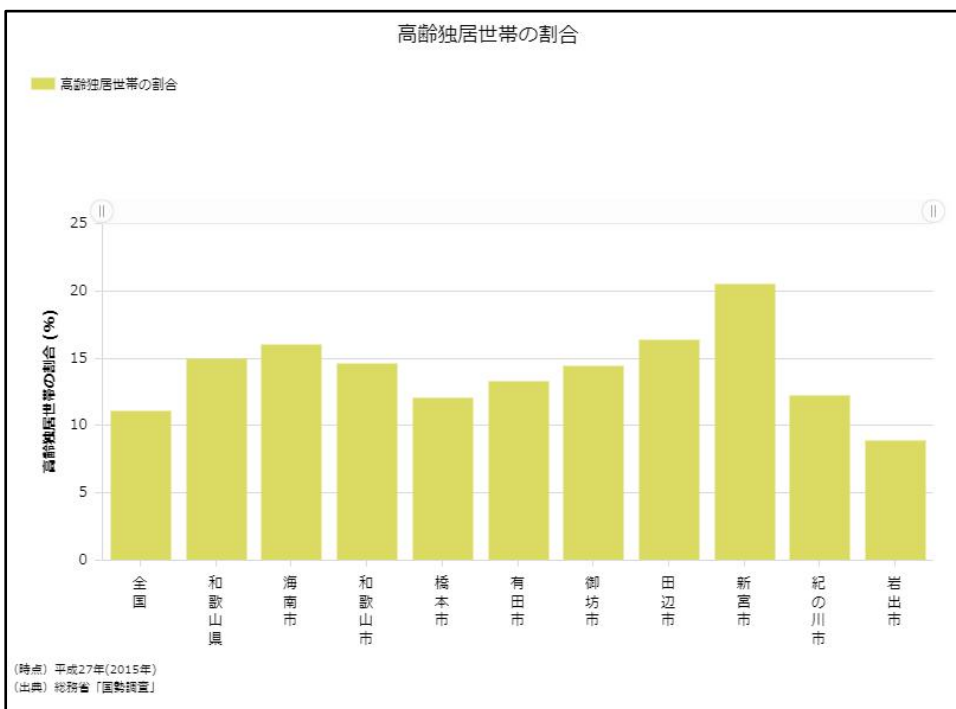
平成27年の海南市の高齢化率は34%で、全国平均（26.7%）、和歌山県平均（30.7%）を大きく上回り、和歌山県下9市の中でも新宮市に次いで2番目に高い値となっています。

### 3. 高齢者を含む世帯の割合



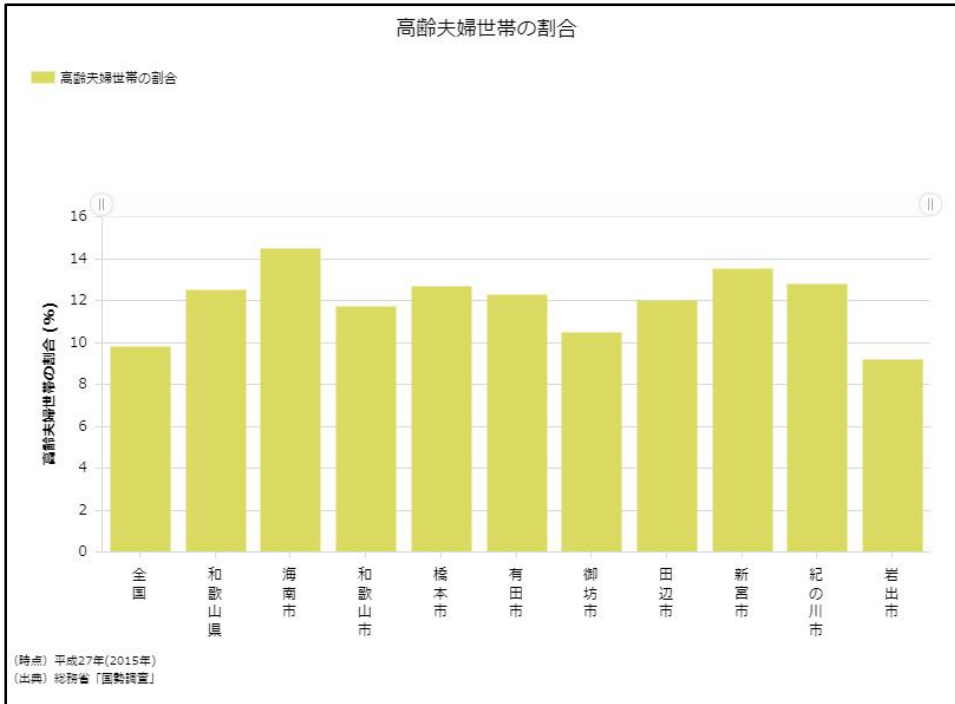
平成27年の海南市の高齢者を含む世帯の割合は55.6%で、全国平均(40.7%)、和歌山県平均(49.5%)を大きく上回り、和歌山県下9市の中で最も高い値となっています。

### 4. 高齢独居世帯の割合



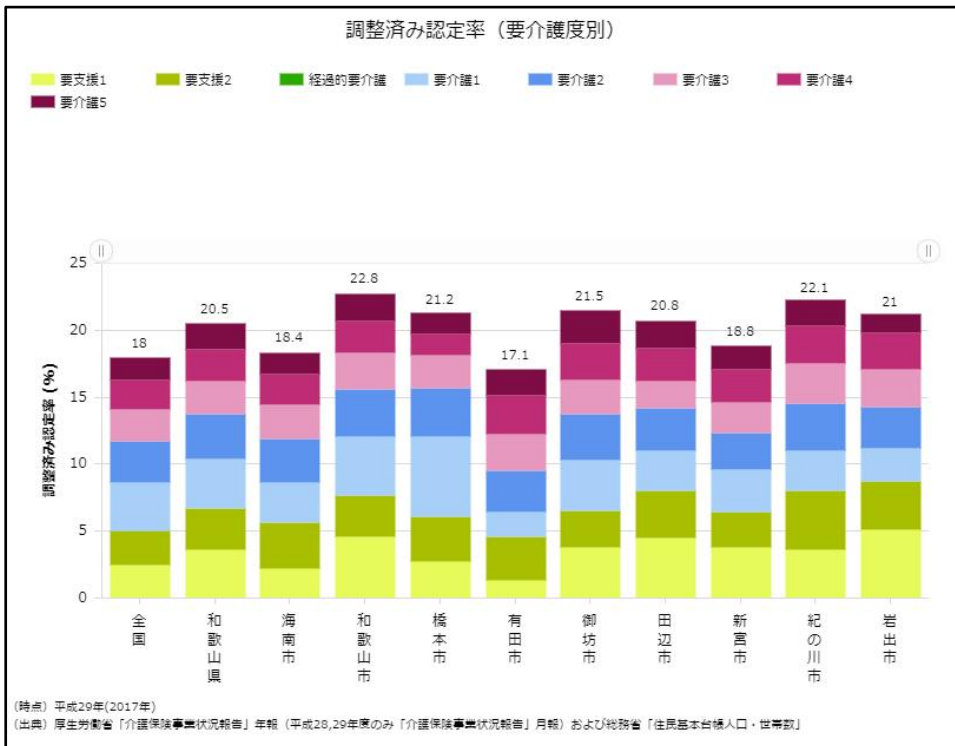
平成27年の海南市の高齢独居世帯の割合は16%で、全国平均(11.1%)、和歌山県平均(15%)を大きく上回り、和歌山県下9市の中で新宮市、田辺市に次いで3番目に高い値となっています。

## 5. 高齢夫婦世帯の割合



平成27年の海門市の高齢夫婦世帯の割合は14.5%で、全国平均(9.8%)、和歌山県平均(12.5%)を大きく上回り、和歌山県下9市の中で最も高い値となっています。

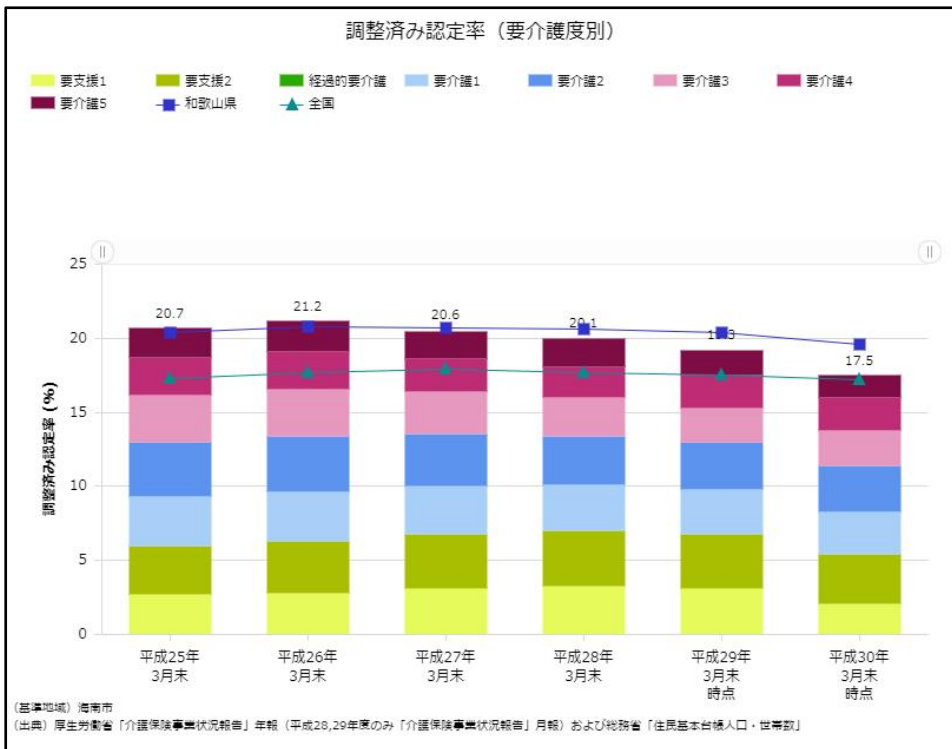
## 6. 調整済み認定率（他市比較）



「調整済み認定率」とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率のことです。

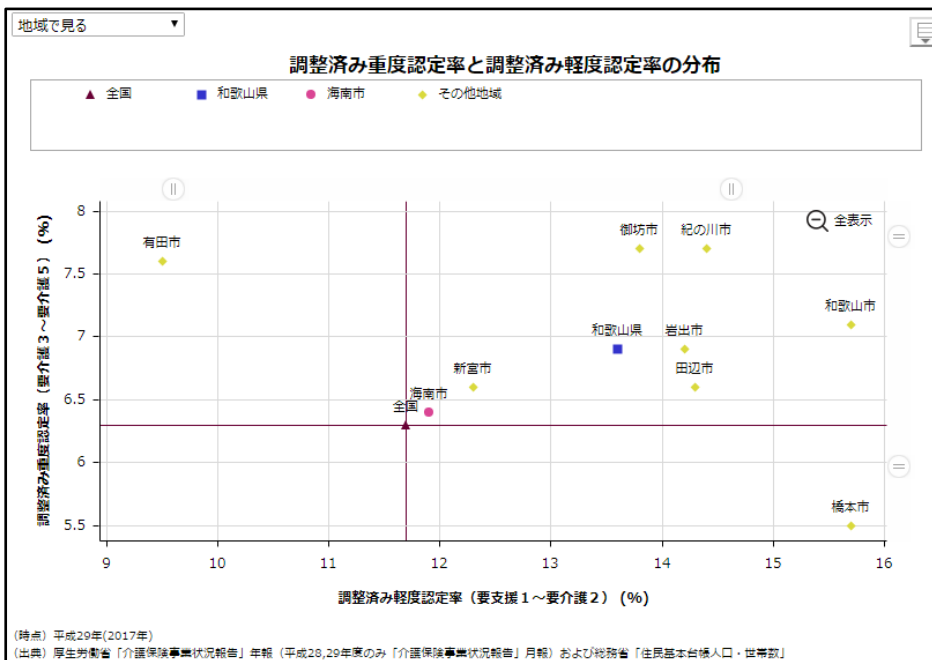
海門市は全国平均をわずかに上回っていますが、和歌山県下9市の中では有田市に次いで低い値となっています。

## 7. 調整済み認定率（経年比較）



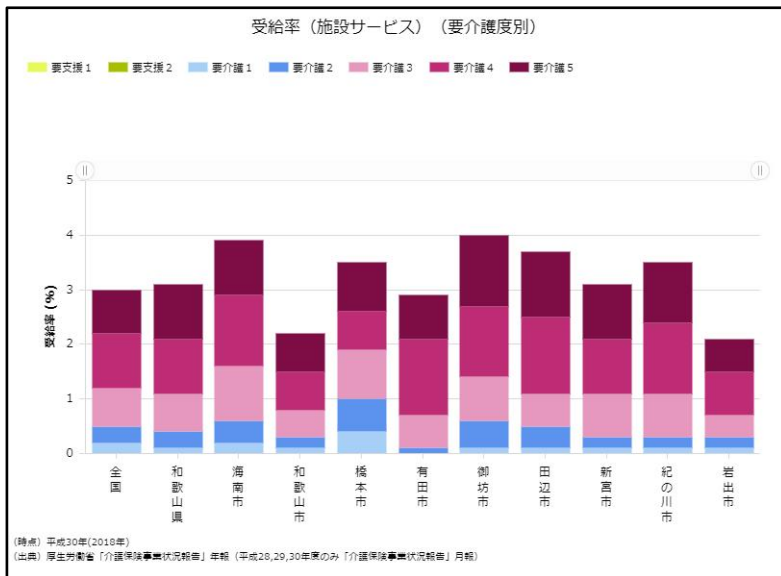
海南省の調整済み認定率は、平成25年度をピークに減少を始め、平成29年度には大幅に減少し、全国平均に近い値となっています。

## 8. 要介護・要支援認定率（重度・軽度分布）



海南省の調整済み認定率は、重度、軽度のいずれも全国平均並みとなっており、重度認定率は和歌山県下9市で橋本市に次ぎ2番目に低い値となっています。

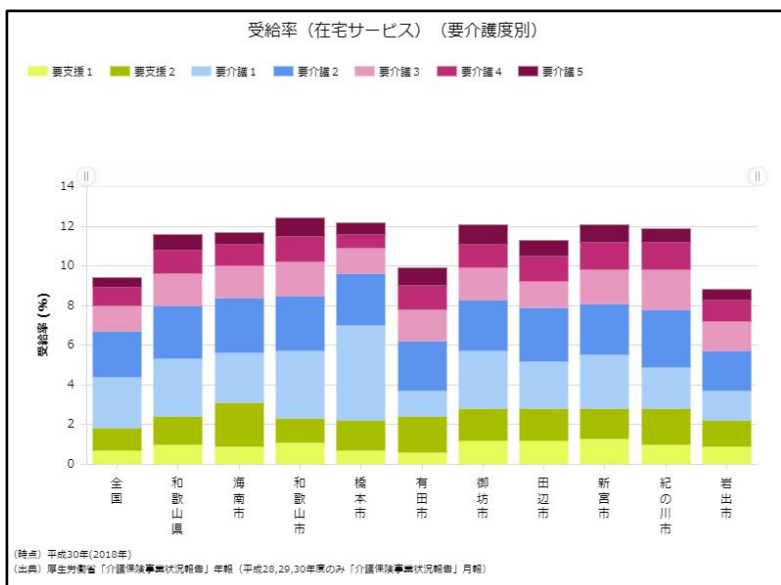
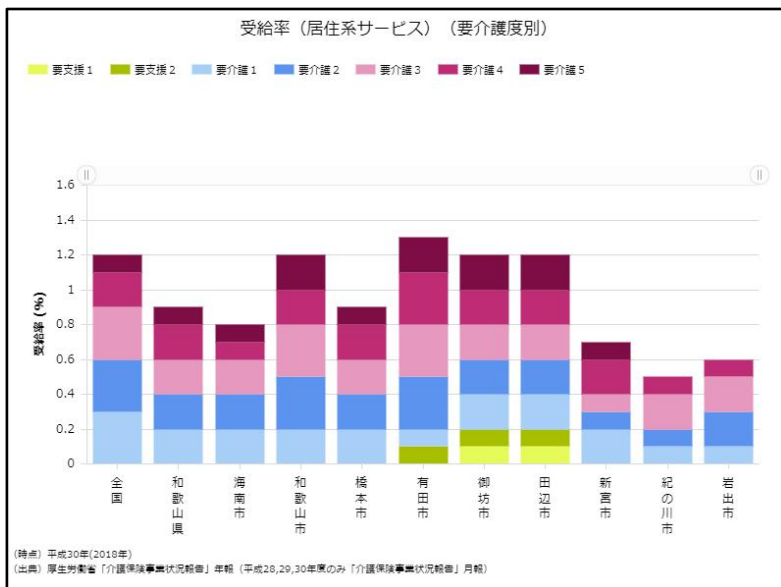
## 9. 受給率（サービス系列別、要介護度別）



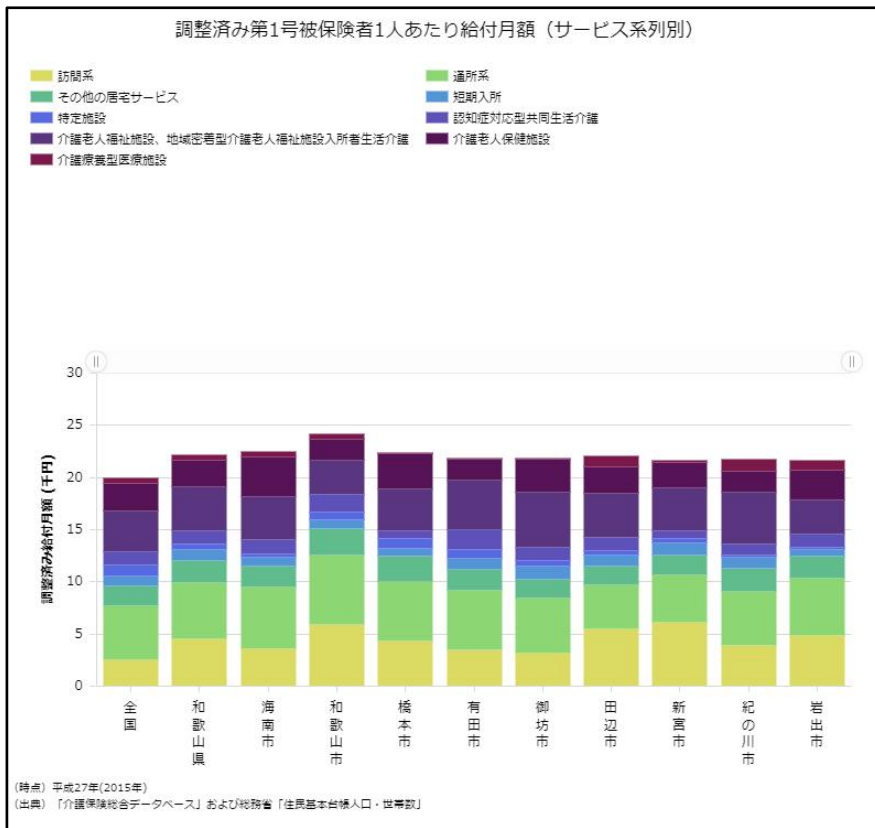
海南市のサービス系列別の受給率は、施設サービスが全国平均及び和歌山県平均を大きく上回り、和歌山県下9市では御坊市に次いで2番目に高い値となっています。

居住系サービスは全国及び和歌山県平均を大きく下回っています。

在宅サービスは和歌山県平均をわずかに上回る値となっています。



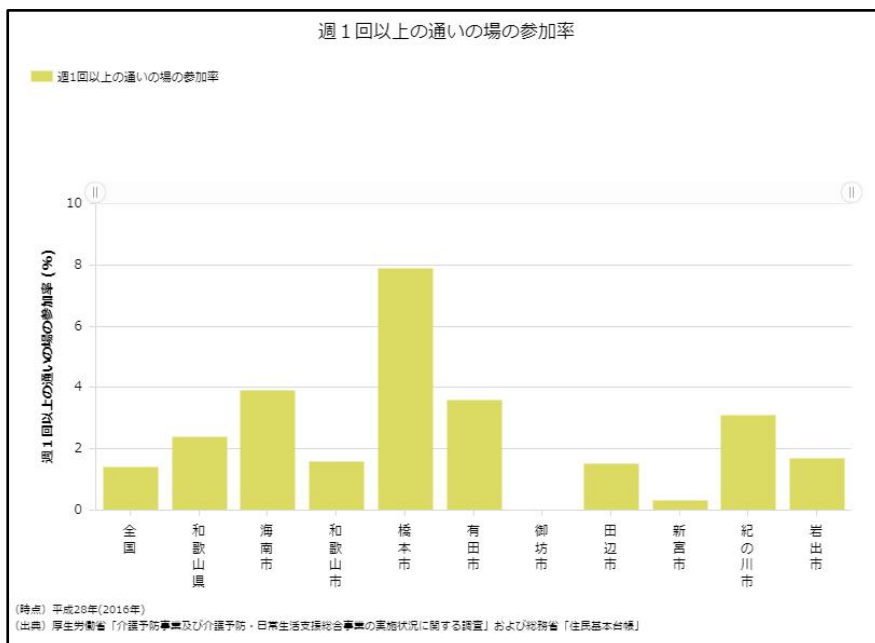
## 10. 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系列別）



海南市の調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額は、全国平均及び和歌山県平均を上回り、和歌山県下9市では和歌山市に次いで2番目に高い値となっています。

特に介護老人保健施設の値が大きくなっています。

## 11. 週1回以上の通いの場の参加率



海南市の週1回以上の通いの場の参加率は、全国平均及び和歌山県平均を大きく上回り、和歌山県下9市では橋本市に次いで2番目に高い値となっています。

## 12. 海南市の特徴

- 高齢化率は全国平均、和歌山県平均と比較しても非常に高く、高齢者を含む世帯の割合、特に高齢夫婦世帯の割合は和歌山県下9市で最も高くなっています。
- 調整済み認定率は、重度・軽度ともに全国平均よりわずかに高い程度で、和歌山県下でも低い部類に入ります。平成25年度をピークに減少しています。
- 受給率は、施設サービス、特に介護老人保健施設の値が大きく、居住系サービスは市内に（地域密着型）特定施設入居者生活介護がないことから低い値となっています。在宅サービスは全国平均より高いものの、和歌山県平均並みです。
- 週1回以上の通いの場の参加率は全国平均及び和歌山県平均を大きく上回っています。

## 13. 海南市の現状分析と要因

- 高齢化率が高く、高齢者を含む世帯の割合、特に高齢者夫婦のみの世帯が全国平均や和歌山県平均を上回り、「老老介護」の状態に置かれやすい状況にあります。
- 一方で、調整済み認定率は、重度・軽度ともに全国平均よりわずかに高い程度で、和歌山県下でも低い部類に入ります。海南市では平成29年4月から新しい総合事業を開始し、総合事業では要支援相当で基本チェックリストに該当する方（事業対象者）が認定を受けることなく総合事業のサービス（訪問介護・通所介護）を利用できるようになったこと、また、事業対象者への移行を含む自立支援・日常生活支援への積極的な取り組みを行ったことが調整済み認定率の低下に大きく影響していると考えられます。週1回以上の通いの場の参加率は全国平均及び和歌山県平均を大きく上回っていることから、その傾向がうかがえます。
- 施設サービスについては、介護老人保健施設が市内に充実しているだけでなく、近隣の和歌山市の施設についても地理的に利用しやすい環境にあることから、利用率が高いものと思われます。
- 居住系サービスについては、市内に（地域密着型）特定施設入居者生活介護がないことから、利用率が低くなっていると思われます。
- 在宅サービスについては、和歌山県平均自体が全国平均を大きく上回っていることから、海南市だけの要因だけでなく、高齢化率等の和歌山県全体の地域的な要因が大きいものと思われます。